

様式第 2 号

視察研修先	愛媛県松山市議会	氏名	佐藤 耕治																												
視察研修項目	消防団について																														
<p>概要</p> <p>面積 429.35 km<sup>2</sup>  人口 502,052 人  世帯数 254,292 世帯</p> <p>明治 22 年に市政が施行され、松山城や近代俳句の祖正岡子規をはじめ、多くの文人が輩出されており、瀬戸内海国立公園に指定されている。</p> <p>特徴</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本団員</td> <td>2,038 名</td> <td>103 名</td> <td>2,141 名</td> </tr> <tr> <td>郵政</td> <td>43 名</td> <td>0</td> <td>43 名</td> </tr> <tr> <td>大学生</td> <td>150 名</td> <td>100 名</td> <td>250 名</td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>21 名</td> <td>0</td> <td>21 名</td> </tr> <tr> <td>島しょ部女性</td> <td>—</td> <td>9 名</td> <td>9 名</td> </tr> <tr> <td>合計人数</td> <td>2,252 名</td> <td>212 名</td> <td>2,464 名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の中心は、40 代と 50 代（構成員 10 代から 70 代）</li> <li>・女性団員は全国第 2 位の団員数で広報や救命・防火・防災活動や規律訓練を実施している。</li> <li>・郵政団員（機能別消防団員）が地域に密着した存在、南海トラフ地震を想定しての訓練。  避難訓練・防災情報及び警戒監視・負傷者の救出及び救護活動・避難誘導等。</li> <li>・大学生消防団員  避難所等での活動と平時の広報・PR 活動。大学生防災サポーターとして活動。  物資管理・物資配布・応急救護。卒業後に基本団員としての消防団員への入団することで、将来の防災担い手となることに期待。</li> <li>・まつやまだん団プロジェクト（消防団員応援事業）  （IC 機能付きカード）割引・優遇が家族サービスにもなっている。  多くの機能別消防団が活動しており、講習会や研修会を実施している。さらに重機の操作資格を有した人が登録し、訓練に励んでいる。  消防団ポンプ蔵は行政が建設し、さらに地元小中学校生徒にポンプ蔵の表面シャッターの図柄ペイントを依頼してユニークなデザインとなっている。</li> </ul> <p>感想</p> <p>消防団員の基本団員・郵政団員・大学生団員・女性団員・島しょ部女性や事業所がそれぞれの役割分担が適材適所の人員配備がなされており事業者の協力を経て「松山市消防団員証」を発行し、割引・優遇が図られてい</p>					男性	女性	合計	基本団員	2,038 名	103 名	2,141 名	郵政	43 名	0	43 名	大学生	150 名	100 名	250 名	事業所	21 名	0	21 名	島しょ部女性	—	9 名	9 名	合計人数	2,252 名	212 名	2,464 名
	男性	女性	合計																												
基本団員	2,038 名	103 名	2,141 名																												
郵政	43 名	0	43 名																												
大学生	150 名	100 名	250 名																												
事業所	21 名	0	21 名																												
島しょ部女性	—	9 名	9 名																												
合計人数	2,252 名	212 名	2,464 名																												

ることは家族サービスにも繋がっている。

さらに、「消防団ラッピングバス PR 事業」や「ポンプ蔵シャッターペイント」も周知活動がなされ、市民が参加している。

地震を想定し、機動重機消防団員 42 名が登録されており「備えあれば患いなし」を痛感した。

本市においても、「地震」と「線状降水帯」を想定した訓練と装備を検討しなければならないと再認識した。

視察研修地	愛媛県今治市議会	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	クリーンセンター（バリクリーン）について		
<p>概要</p> <p>面積 419.21 km<sup>2</sup>  人口 150,687 人  世帯数 76,023 世帯  タオル・縫製・製塩・造船などが地場産業として発展しているまち。</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ処理施設と防災拠点の機能を備えた施設建設にあたっての基本方針 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 廃棄物を安全かつ安定的に処理する施設</li> <li>2. 地域をまもり市民に親しまれる施設</li> <li>3. 環境啓発、体験型学習及び情報発信ができる施設</li> </ol> </li> <li>・ 指定管理  設計・建設・運営を一般競争入札にて実施している。</li> <li>・ 東日本大震災を踏まえて、防災拠点として整備することになった。  施設は、工場棟と管理棟から成り立っている。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可燃ごみ処理施設</li> <li>2. リサイクルセンター</li> </ol> </li> <li>・ 公害基準は、国の基準よりさらに厳しく公害防止基準値を設定している。</li> <li>・ ごみ発電は、ごみ焼却した時に発生する熱を利用して発電し、施設全体の消費電力を補い余った電力は売却している。</li> <li>・ 防災拠点は、耐震・免震対策を実施し、停電時においてもごみ発電により安定した電気を供給している。災害時320名の避難所として利用可能。</li> <li>・ 環境啓発として、施設見学が楽しみながら学ぶことができるよう、見学者ホールの解放、工場の中身が見え、体験ができる施設となっている。</li> </ul> <p>感想</p> <p>平常時と避難時という時間的なフェーズを取り払い、いつでも利活用できるスペースを確保。ごみ処理用発電と非常時用発電で空調・シャワー・風呂・炊き出し可能なIH調理ができる。生活用水を供給できる地下水高度処理設備や生活排水を1週間以上貯留できる排水貯槽を設置しており、避難生活に必要なトイレ、洗面・入浴・洗濯ができるように設計されている。プラント稼働後はプラント内で排水を再利用する。施設内では平常時に卓球等の軽スポーツを楽しんでいる。</p> <p>万全の耐震・免震対策を実施し、停電時においてもごみ処理発電により安定して電気を賄うことができ、管理棟は、安心して避難できる場所として活用し、非常食や飲料水を備蓄されている最良の避難所施設であった。</p> <p>地域を守り市民に親しまれる施設でもあった。</p>			

視察研修地	愛媛県四国中央市議会	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	子ども若者発達支援センターについて		
<p>概要</p> <p>面積 421.24 km<sup>2</sup>  人口 82,947 人  世帯数 38,831 世帯</p> <p>四国中央市は、平成16年に2市1町1村が合併して誕生。愛媛県の東部、高速道路の中央結節点に位置し、瀬戸内海に面している四国のまん中にある。  工業では、パルプ・紙・紙加工品製造の製品出荷が日本一である。</p> <p>特徴</p> <p>「子ども若者未来応援計画 パレット・プラン」  障がいの有無にかかわらず、それぞれの有する特性により社会生活を送るうえで何らかの困りごとがある若者としている。</p> <p>放課後等デイサービス事業 = 親子ホーム・小集団療育  子ども・若者総合相談センター = 発達支援室・相談・個別療育  福祉型児童発達支援センター = 通園ホーム・小集団療育</p> <p>3事業が常に連携して取り組んでいる。</p> <p>子ども若者総合相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来所相談/電話相談 = 専門員が電話や対面に応じる相談、出張も行っている。</li> <li>・心理療法 = 心理面での問題に対して、面接によって問題解決を援助する。</li> <li>・パレット(施設)訪問相談 = 園や学校等、子どもたちが普段過ごしている場所での様子を見て、保護者や支援者と今後のかかわり方について話し合う。</li> <li>・ケース会 = 関係機関が情報を共有し、支援の方向性の検討と役割分担を行うことで、一貫した支援を継続的に行う。</li> <li>・検査 = 相談員や検査担当職員が本人の様子を見たいうえで、必要な検査とその実施時期を判断する。  発達検査・知能検査・感覚統合検査・その他の心理検査を実施している。</li> </ul> <p>感想</p> <p>一人ひとりの相談と成長や状況を的確に判断をして丁寧さに感銘した。  園や学校での様子を見て、保護者との話し合いや相談をきめ細かく実施していること。  就学前のことばの検査や本人・保護者との共通認識を持ち必要な配慮や支援を行い、保護者の心配に寄り添い、不安の軽減を図ることで育児支援を行っていること。</p> <p>放課後等デイサービスは、障がいや発達に特性のある学齢期の児童を対象に、放課後や夏休みなどの長期休暇中の居場所を提供し、生活能力の向上や、集団生活への適応力を育てている。学校から事業所への送迎・保護者の送迎または本人のみの通所により、児童だけで療育を受ける「個別療育」を行っている。</p>			

視察研修地	香川県琴平町議会	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	琴平町電子地域通貨「KOTOCA」について		
概要			
面積	8.47 km <sup>2</sup>		
人口	8,294 人		
世帯数	4,178 世帯		
香川県の西部に位置し、15世紀頃から金比羅信仰が高まって、その門前として栄えてきました。日本最古の芝居小屋「金毘羅大芝居(金丸座)」が存在している。			
特徴			
「小さくてもみんなが笑顔で幸せを感じるまち 琴平町」			
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年12月よりキャッシュレス化事業「KOTOCA」を開始した。 当初加盟店 約120店(令和5年10月159店) カード利用 63% アプリ利用 37%</li> <li>システム年間費用4,000万円、手続きは町職員が担当し指導している。 カードについては、チャージポイント還元キャンペーンを通年2%、5月と10月は5%を実施している。</li> <li>運用開始：町民8,664人に5,000コトカを付与。 利用率92.4%地域内循環を活性化がなされ、今後観光事業の推進、非接触の推奨を展開。</li> <li>広報は町が行うため、店舗独自のサービスも含め、店舗の宣伝にも効果が図られている。</li> <li>スマートフォン導入経費：無料で町が全て買い上げて貸付。 使用にあたっての講習会を実施している、「スマホサロンもしもし」月2回やスマホ教室を開催し、デジタルデバイトの解消に向けた取り組みを実施。</li> </ul>			
感想			
<ul style="list-style-type: none"> <li>カードのチャージポイントができることは、便利で何度でも利用できることから地域経済の活性化に繋がり、参考になった。 高齢者の利用が高いとの説明があり、キャッシュレス化普及活動の成果であった。</li> <li>キャッシュレス化における加盟事業者の増加に向けて、認知度を高めるために、民間アドバイザーのサポートを受けながら、町職員が一軒一軒訪問して加入促進に実施している。</li> <li>スマホのアプリ利用率を上げるために、スマホ所有がない方に対して町でスマートフォンを無料で全て買い上げて貸付を実施している取り組み。 特に、高齢者への「スマホサロンもしもし」(月2回)やスマホ教室を開催し、デジタルデバイトの解消に向けた取り組みに感銘を受けた。</li> <li>今後の取り組みとして、観光関係への活用を検討。 金比羅山参拝は、年間通じて約250万人が訪れることから経済の波及効果を狙っている。</li> </ul>			